

第 2 回 町田市廃棄物最終処分場閉鎖等検討委員会の議事要旨

開催日時：平成 19 年 8 月 9 日(木)19:00~21:20

開催場所：町田市リサイクル文化センター研修室

参加者：（委員）梶山 正三[委員長]、小川 由一[副委員長]、関口 鉄夫、広瀬 立成
粕谷 羊三、小山 宰正、新井 堅司、塩路 正太、大垣 雅子、
高木 康夫、フォーク エリック、中川 慶子、小林 美知、木野 直美
（事務局）石阪 至孝、鈴木 和夫、内山 重雄、河西 秀悟、山田 正孝、黒須 桂子
鶴長 文憲、斉藤 泰久、田中 利治、岡田 起平、寺田 悟
（傍聴者） 1 名

主な議事内容を以下に示す。

（1） 第 1 回検討委員会の議事要旨の確認について

- ① 第 1 回検討委員会の議事要旨の内容について了承された
- ② 詳細な発言内容を記載した議事録は作成せず、委員会での決定事項や意見等をまとめた議事要旨のみ作成する旨を了承された（次回以降は各委員に事前送付を予定）
- ③ 検討委員会や作業部会の音声については事務局で保管することとし、要望があれば委員に提供することとする

（2） 作業部会の位置づけについて

- ① 作業部会の目的は「技術的な内容を議論し、委員会での討議事項を事前整理する」こと、参加者は「委員長、副委員長、学識経験者、事務局は必須、他の委員は自由参加」とすることです了承された
- ② 関口委員が作業部会長に就任することです了承された

（3） 第 1 回作業部会及び現地見学会の開催報告について

- ① 8 月 2 日の第 1 回作業部会、8 月 7 日の現地見学会の開催内容を事務局より報告した

（4） 本年度の調査内容について

- ① 本年度の調査内容として、夏季調査として先行着手する内容（浸出水原水調査、埋立ガス性状調査、地下水調査(既設)、河川水調査、雨水調整池の底質・水質調査)、追加調査として実施する内容（地下水調査(新設)、地中温度調査、イオンバランス調査)について了承された
- ② その他に調査内容について以下のような意見があった
 - ・ 最終処分場周辺の民家の井戸や湧水の水質データ等を調査・活用したほうがよい
⇒どぜうの会が調査している周辺民家井戸の水質データの使用可否について確認が必要である
⇒市で把握している周辺民家井戸の水質データの内容等や使用の可否について確認が必要である
 - ・ 地下水の連続測定項目に、酸化還元電位、塩素イオン濃度を追加したほうがよい
⇒当面は現在の 3 項目（pH、EC、水位）の計測を行うこととし、設置予定の機器仕

様を事務局にて確認した上で、可能であれば項目の追加を検討する

- ・ 旧埋立地の埋立ガスを測定したほうがよい
⇒地中温度調査にてガス発生状況をおよそ把握できるので、その結果を考慮し、調査の必要性を再検討する
- ・ 埋立地の水収支について検討が必要である
⇒水収支を厳密に把握するのは困難である
- ・ 埋立地の設置届の書類によると、現在把握している南西から北東への地下水の流れとは別に、より深い深度において西から東への流れがある可能性がある
⇒当面は、伏流水の存在、また、Ds1層における地下水や伏流水の流れや水質調査を実施することとする

③ その他、以下のような意見があった。

- ・ 池の辺埋立区での臭気や昆虫及び小動物が見当たらないことが懸念される
- ・ 埋立地内及び周囲の調査内容としては問題ないと思うが、広域的な環境影響といった全体像（下流のはす田や鶴見川への影響、周辺大気環境等）が不明である

(5) 傍聴者規定及び資料公開のあり方について

- ① 傍聴者規定（資料5）において、「検討委員会に出された意見は必要に応じて検討します」を「検討委員会に出された意見は委員会に諮ります」に変更する
- ② 傍聴者への資料の配布は、市の規定に則り、コピー代実費（資料1枚につき10円）をご負担頂くこととする

(6) 次回の開催予定について

- ① 検討委員会・作業部会の今後の開催スケジュールや討議項目について概ね了承された
- ② 10月5日(金)19:00より第2回作業部会を開催する予定となった（調査の進捗状況に応じて変更の可能性あり）
- ③ 委員によるボーリング調査の見学は可能であり、後日、日程を連絡することとなった。

以上